

第3期倉吉市中心市街地活性化基本計画の策定に伴うパブリックコメントの結果について

この度、第3期倉吉市中心市街地活性化基本計画を策定するにあたり、広く皆様のご意見を参考にするため、パブリックコメントを実施しましたので、その結果を公表します。

1. パブリックコメント実施の概要

(1) 募集期間 令和6年10月9日(水)～令和6年10月30日(水)

(2) 募集方法 持参、郵送、FAX、電子メール又はとっとり電子申請サービス

※資料は市公式サイトに掲載のほか、紙媒体の資料をしごと定住促進課、図書館、関金支所、倉吉駅、各地区コミュニティセンター(関金を除く)に配架

(3) 応募数 3件(7項目)

2. パブリックコメントの内容と意見と対応方針

NO	該当箇所	意見等	対応方針
1	2章	中心市街地というエリアを限定して活性化させる必要性はあるのか。	中心市街地は、商業や居住、公共サービス等の多様な都市機能が集積した地域ですが、コミュニティの衰退や観光業・商業の落ち込みが課題となっています。こうした課題を解決するため、市が中心市街地活性化基本計画を策定し、内閣総理大臣から認定を受ければ、国から様々な支援を受けることができます。本計画により、中心市街地の活性化、ひいては市全体の活性化にも繋がるものと考えております。
2	4章	打吹エリアのお店を訪れる際に、駐車場が空いていなかったり、どこに停めて良いか分からなかったりと、車でのアクセスがしにくい。駐車場の整備が必要ではないか。	観光駐車場の利便性を高めるため、駐車場内をAIカメラで確認し、混雑状況を発信するシステム導入を行うこととしております。利用者はウェブ上で観光駐車場の位置と混雑状況を確認できるようになります。また、駐車場をわかりやすくするため、駐車場名称の統一的なデザインの看板を整備することとしています。引き続き、来場者の安全性、快適性を向上させるため、観光駐車場の維持整備に取り組んで参ります。

3	6 章	空き家対策について、所有者が地元にはいないなどで活用の検討の机上にも乗っていない空き家があると思うが、そういった空き家に対しても積極的に活用を促す施策が重要と考える。	空き家活用サポートセンターにおいて、まちづくり組織と連携し、空き物件の情報収集や所有者への啓発に取り組んで参ります。
4	6 章 7 章	若年層の流出を止めることには活性化は難しいと感じる。若年層に魅力のある取組に期待したい。	若年層の定住を促進するため、空き家のリノベーションに対する支援や、若者が希望する業種のサテライトオフィス誘致などの取組みを推進してまいります。今後とも、若年層に対する様々な支援を検討して参ります。
5	7 章	観光客が少ない感じがする。国内の観光客に限らず、海外からの観光客をねらって、海外の人にとって便利でわかりやすく、安心して回遊できる取組が必要ではないか。	地域連携DMOである鳥取中部観光推進機構と連携し、鳥取県立美術館や円形劇場などの施設、そして関金地区での自然体験活動など、倉吉市の魅力的な観光スポットやアクティビティを、インバウンド観光客に向けて発信するとともに、Wi-Fi の設置やキャッシュレス決済の導入促進、案内板の多言語化等、必要な環境整備について、引き続き検討を行って参ります。
6	7 章	観光客、特に県立美術館に来た人をターゲットにした具体的な戦略が必要ではないか。	本計画においては、具体的な内容は記載しておりませんが、県立美術館に会場された方をターゲットに、市内の観光スポットを周遊いただけるよう、関係機関とも連携をとりながら、ハード・ソフトの両面での様々な施策に取り組む予定です。具体的な戦略については検討させていただきます。
7	7 章	牛骨ラーメン以外にも倉吉の食で人を呼ぶことを検討すべきでないか。	倉吉市には牛骨ラーメン以外にも地酒や和菓子、関金わさびの加工品、いわななどの川魚、すいか、メロン、梨など食の特産物があります。鳥取中部広域観光ビジョンにて示すとおり、倉吉の美味しい食材や料理で人を呼び込めるよう、戦略的なプロモーションや観光メニューの造成等に取り組んで参ります。